

## インターバンクの声（2017 年1月 16 日）

週明けの月曜日がキング牧師記念日の祝日で休場のため、3 連休が待ち構えるニューヨーク市場だったが、序盤に発表された 12 月の米小売売上高が前月比 0.6% 増と堅調だったことから、114 円台前半で取引引きされていた円相場は 115 円台中盤まで円売りが進んだ。小売売上高については市場予想が 0.7% 増だったこともあって弱い結果だったとの受け止め方もあり、むしろドル買いを促したのは同時刻に発表された 12 月の米生産者物価指数だったとの声もある。

いずれにしろ米長期債利回りが上昇に向かい、ニューヨーク・ダウも上げて始まっていたので、ドル買いに動きやすい時間帯でもあった。ここ最近の相場からすれば、115 円台で週の取引を終えるくらいが無難だと思っていたが、1 月のミシガン大学消費者信頼感指数が予想を下回ったことから再びドル売りの展開に戻ってしまった。上昇して始まったダウや長期債利回りの低下も加わったため、ニューヨーク市場は 114 円台中盤に下げて連休前の取引を終えた。トランプ次期大統領の言いたい放題のような発言が目立ち、ドル売りのバイアスが掛っているようにも感じるが、週末に大統領就任式を控えており、極端にドル売りに傾けることも難しそうだ。

---

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。